



令和4年度
秋の展示

海へ向かう神々の祭

令和4(2022)年

令和5(2023)年

10月22日(土) ~ 1月9日(月・祝)

開館時間 9:00 ~ 16:30(入場 16:00 まで)

休館日: 月曜日(祝日は開館)、年末年始(12月28日~1月4日)

入場料: 一般 300円(240円)、高・大生 150円(120円)

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方及び介護者1名は無料

※()内は20名以上の団体料金

特別協力 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

後援 朝日新聞社千葉総局、産経新聞社千葉総局、東京新聞千葉支局、日本経済新聞社千葉支局、
毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局、千葉日报社、NHK千葉放送局、千葉県ケーブル
テレビ協議会、ちびっ子テレビ、bayfm78(順不同)

千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2(青葉の森公園内) TEL 043-265-3111(代表)

<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

写真: 九十九里町 真亀須賀神社祭礼

Follow @chiba_chuohaku



①海に現れる神々の物語

海を舞台に繰り広げられる神話と、神話を再現する神輿祭礼を紹介します。



かつこまい
鞆鼓舞面
(館山市大神宮区上郷区蔵)

安房神社例祭(写真提供: 安房神社)

③民衆の海への祈り

豊穡祈願と疫病退散を祈る、房総各地の海とハマの祭りを紹介します。



▲祭礼絵馬(いすみ市大井区蔵)

大原の祭礼(写真提供: 有限会社サンキュー印刷)

千葉県には神輿が海や水辺に向かう多くの祭りがあり、「おはまおり」のほか「しおふみ」「おはまで」などと呼ばれています。安産・子育て、豊漁豊作、疫病退散などの願いを込めて行われてきた祭りは、海とともに生きてきた人々の暮らしや文化を象徴するものです。本展では「おはまおり」の歴史や意義、魅力をご紹介します。

②武神と海の信仰

国土安泰を祈る武神の祭りは海と関係が深く、また、次第に民衆の祭りとして発展してきたことを紹介します。



▲香取神宮神幸軍神祭図(当館蔵)

香取神宮式年神幸祭

④泥の祭

ハマの祭礼の特異な発展形態ともいえる泥の祭りについて紹介します。



四街道市和良比皇産霊神社祭礼
(写真撮影: 吉野章郎)

大六天の燈籠(皇産霊神社蔵)▶

●おはまおりセミナー 2022

期 日: 11月6日(日) 時間: 12:30~16:00 会場: 中央博物館 講堂

対 象: 一般(小学校高学年以上) 定員: 150名(事前申し込み)

内 容: おはまおりに内在する歴史や文化の豊かさを知り、これからの房総の海を祭りを考えます。

- ・第1部 講演 俵木悟氏(成城大学)、石井聖子氏(特定非営利活動法人美和の森)、蘇理剛志氏(和歌山県立紀伊風土記の丘)
- ・第2部 パネルディスカッション 県内の祭礼関係者の方々とともに。

●担当学芸員による展示解説

期 日: 10月22日(土)、11月5日(土)、19日(土)、23日(水)、

12月3日(土)、11日(日)、17日(土)、25日(日)、1月7日(土)、9日(月)

時 間: 11:00~11:30

※新型コロナウイルスの感染状況等により、予定が変更になる場合がございます。予定の詳細や申し込み方法はウェブサイトでご確認ください。

こどももたのしい
イベントがあるよ!

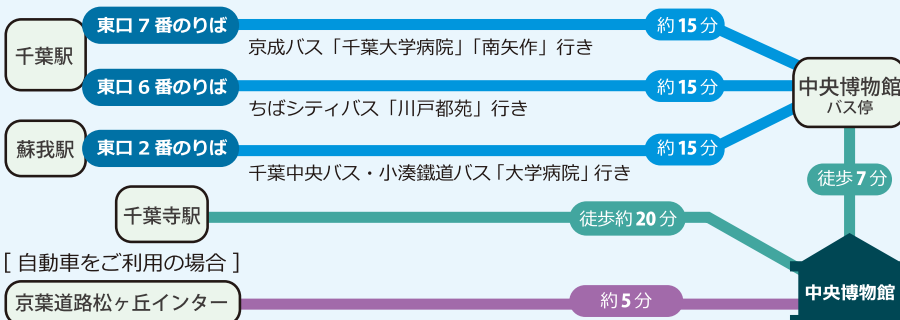
●海とおみこしのぬりえを楽しむ
「おみこし」や「ししまい」のかっこいいぬりえをお祭り気分楽しんで。

●おはまおりワークシート
クイズにこたえて、「おはまおり」に
くわしくなる。

どちらも開催期間中、
毎日実施

イベント

交通案内



■JR千葉駅東口から、バス約15分「中央博物館」下車+徒歩約7分
■京成千葉寺駅から、徒歩約20分

■JR蘇我駅東口から、バス約15分「中央博物館」下車+徒歩約6分
■自動車の方は「青葉の森公園北口駐車場」(有料)をご利用ください